

天空の里 いもい農場

# 活動通信

平素、天空の里 いもい農場へのご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。活動の様子となりますので、ご高覧をよろしく願っています。

【発行】天空の里 いもい農場 代表 五味 美穂子（舗）

【発行日】2021年12月10日 【発行号数】2021年度4号（通算82号）

【運営事務局】〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田1140-1 西沢 和宏 TEL.090-9358-3286

■主催：天空の里 いもい農場 ■後援：芋井地区住民自治協議会



日ごろ、関係各位におかれましては、多大なご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2021年度天空の里 いもい農場の活動は、「2020年度にできなかったことを『With コロナで実施を目指します』」をテーマに掲げて活動を進めました。12月4日、無事、8年目の全15回の活動を終えることができました。

今年は、「コロナに負けない“信州応援基金”（長野県みらい基金）」を活用し、芋井社会会館の感染症対策を施すとともに、フィールドでは密の場面を作らない工夫を行うことで、過去最大の参加人数（延べ650人）が芋井地区に集いました。コロナ禍においても、安心して参加できる場の提供ができました。また、他団体との連携を深めることで、活動の幅も広がりました。

9年目の活動となる2022年度は、引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応が大前提となりますが、もとは芋井小学校第二分校の学び舎であった芋井社会会館の場を活かした運営で、より参加満足が広がるような楽しい活動を目指してまいります。

引き続き、ご指導とご鞭撻を賜れば幸いです。

代表 五味 美穂子

## ▽9/25・9/26 お米を作ろう！（脱穀）

- ・参加人数：大人21人・子ども13人（合計34人）
- ・活動テーマ：「お米を作ろう！（脱穀）」
- ・内容：オリエンテーション、脱穀、リンゴ葉摘み、草取り、夏野菜収穫

※26日は、雨天中止



（天空田んぼで110キロのお米、収穫！）

この回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策で、時間・内容を細かく設定した上で開催しました。9/11・12の稲刈りに続き、脱穀と、畑で夏野菜の収穫、リンゴの葉摘みと、様々な取り組みを実施しました。

## ▽10/16 イモほり・リンゴ狩り

- ・参加人数：大人32人・子ども23人（合計55人）
- ・活動テーマ：「イモほり・リンゴ狩り」
- ・内容：オリエンテーション、リンゴ収穫（シナノスイート）、文字絵リンゴ収穫（シナノスイート）&文字絵リンゴ作り（フジ）、サツマイモ収穫、夏野菜最終収穫と畑の片付け、新米おこぎり&とれたてダイコンサラダと金平で昼食交流



この回は、春から花摘み・摘果・葉摘みを行ってきたリンゴの収穫に合わせ、観光振興を目的に長野市きらめき隊とともに実施した、文字絵リンゴの収穫イベントを開催しました。畑では、サツマイモ収穫や夏野菜最後の収穫と片付けを行いました。

## ▽おいしい芋井のリンゴをPRしたい！文字絵リンゴ収穫

昨年と今年、コロナ禍により広い地域から人が集まる「リンゴの木オーナー制度」を中止としました。その代替え企画でスタートした「文字絵リンゴ作り」は2年目の取り組みとなり、今年も長野市きらめき隊とともに、天空の里 いもい農場のリンゴの木で実施しました。シナノスイートを「観光振興」、フジを「リンゴ栽培への関心を寄せるきっかけ作り」と、品種と目的を分けて取り組みました。今回、長野市芋井支所から中澤様（長野市きらめき隊・支所長補佐）にお越しいただき、観光PRと収穫体験交流を一緒に行いました。



ご挨拶と飯綱高原に開設される山の駅の観光PRをされる中澤様



飯綱山の稜線のラインと『芋井』の文字が浮かんだリンゴを手に記念撮影

### ▽11/6 焚火で食べよう、焼き芋、焼きネギ、焼きマシュマロ

- ・参加人数：大人31人・子ども21人（合計52人）
- ・活動テーマ：『焚火で食べよう、焼き芋、焼きネギ、焼きマシュマロ』
- ・内容：ハウサイ・ダイコン・長ネギ収穫、焼き芋、焼きネギ、焼きマシュマロ、茹で落花生試食、畑の片付け



（収穫した野菜を前に、記念写真）

この回は、秋野菜の収穫とともに、北信州応援団の協力で焚火を活かした「収穫して、その場で『すく』食べる活動」を実施しました。収穫の秋を、思いっきり楽しむ機会になりました。

### ▽11/20 大収穫祭「田畑の恵みを味わおう！」

- ・参加人数：大人29人・子ども17人（合計46人）
- ・活動テーマ：大収穫祭「田畑の恵みを味わおう！」
- ・内容：リンゴ収穫（フジ）、畑の石とり、牛糞堆肥散布、収穫祭



（一同に介して、2年ぶりの収穫祭！）

この回は、大収穫祭と銘打って、田畑で収穫した農産物を調理し、参加者とともに味わいました。大収穫祭は、昨年は中止としたので、2年ぶりの開催。さらに今回は、夏に新型コロナウイルス感染症の第5波で、新ジャガを使ったカレーを見送ったことを受け、はじめて冬ジャガイモ（デジマ）を栽培し、料理のメインに新ジャガカレーを作りました。

### ▽大収穫祭

コロナ禍により、広間を活用した活動を中止してきましたが、食事のルールを共有した上で、With コロナの収穫祭

を開催することができました。地主の和田さんが駆けつけていただき、ご挨拶を頂戴するとともに、長野市芋井支所支所長補佐の中澤様にも同席いただきました。収穫に感謝しつつ、たくさんの料理を食べながら楽しい時間を過ごすことができました。



（感謝の色紙を手にする和田さん）

収穫祭の冒頭、田畑の中間管理をいただいた和田さんへ感謝の気持ちをお伝えしようと、長野県立大学生が考案してくれたリンゴ型の色紙をお渡ししました。

### ▽12/4 クラフト（クリスマスリース、ミニ門松）

- ・参加人数：大人37人・子ども22人（合計59人）
- ・活動テーマ：クラフト（クリスマスリース、ミニ門松）
- ・内容：芋井社会会館大掃除、クラフト（山楽会プレゼンツ）、焚火（北信州応援団プレゼンツ）、干し柿実食、閉講式



（ミニ門松とマシュマロ盛り）

この回は、芋井社会会館の大掃除と、山楽会・北信州応援団のみなさんの協力で、クラフトと焚火、15回の活動の最後を締めくくる閉講式を実施しました。この日は、芋井広瀬地区一斉清掃の一環で、農道の側溝掃除も実施しました。

### ▽芋井社会会館の大掃除

地域からお借りしている芋井社会会館、感謝の気持ちを込めて、普段行き届かない所の掃除を、参加者全員で実施しました。



右：トイレは、床から便器、蛍光灯まで、きれいになりました。左：調理室は、床、シンク、食器棚をきれいになりました。



農道の側溝にたまった落ち葉と土砂を引き上げました。

★『モモ』より

時間とは、生きるということ、そのモノ。そして人の命は心を住みかとしている。

## モモの経済学

正確にはエンヂ、ゲゼル、シュタイナーの経済学とは違うモデルです。

— ミヒャエル・エンヂ



モロ一度貨幣を**実際になされた仕事や物の実態に対応する価値**として位置づけるべき。by エンヂ

↓【注】愛 ≡ 愛情 - 情

★自由貨幣 (自然的経済秩序)

好き嫌いではなく宗教上のモノとも違い？、どちらかという**サイコパス的**？。

あらゆるモノが減価するのに通貨だけが減価しない

— シルビオ・ゲゼル



★社会三層化論 (社会有機体三分節)

「精神生活における自由」  
「法律上の平等」 「経済生活における友愛」の原則に基づいて運営される社会

— ルドルフ・シュタイナー



・社会有機体三分節化 | 【霊性の破片】  
・社会三分節とは - 社会三分節研究

日本的には、

★至誠・勤労・分度・推譲

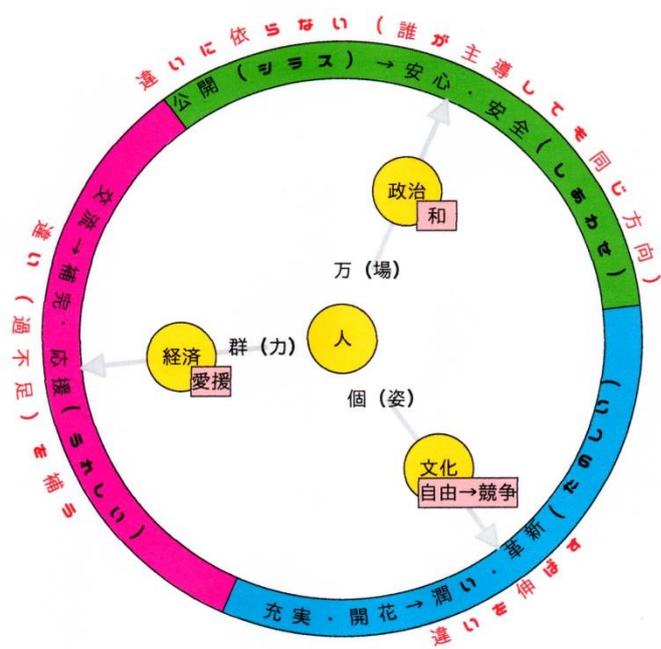
— 二宮尊徳



★豈国 (アニクニ)

よろこびあられる楽しい国

トレンド的には、



### 万人による闘いモデルから (シフト)

サイコパス的の愛の説明

自然界：「海よ～俺の海よ～ 大きなその愛よ～」の愛。必ずしも人間に優しいというわけではないけど、もたらされる恵みにその厳しさが関与していることもある。

人間界：99人の犠牲と100人の犠牲のいずれかを選択肢ないといけな場合、その判断に感情が入らざる合理的なこと。もしも1人も犠牲にしたらダメな場合、物事を長い目で捉え、不測の事態を招かない備えをする、ということ。

## 経営の立場からの外部環境分析シート

### 政治・社会の動向

- ・何があっても安心・安全な暮らしが期待できる期待値は？
- ・全ての人に平等な機会が与えられているかの実感度は？

(SDGs的には)

-  **すべての人に健康と福祉を** (経済力にも依る?)
-  **質の高い教育をみんなに** (経済力にも依る?)
-  **ジェンダー平等を実現しよう**
-  **エネルギーをみんなに、そしてクリーンに** (コスト重視?)
-  **人や国の不平等をなくそう** (ヤングケアラー)
-  **平和と公正をすべての人に** (情報などの格差、競争?)

### 経済・景気の動向

- ・お金が滞りなく流通している実感度は？
- ・経世済民の実現度は？
- ・物価インフレ、賃金デフフレ

(SDGs的には)

-  **貧困をなくそう** (子供食堂、路上生活者は自己責任?)
-  **飢餓をゼロに** (食品ロスが多い、食糧自給率は低い)

(インテのモモから)

- ・効率が一番、時は金なりで済む。

### 科学・技術の動向

- ・AIなどの先端技術は誰にとって都合が良いことが優先して開発されるのか？

(SDGs的には)

-  **産業と技術革新の基盤をつくろう** (地域の財産になるか)

(インテのモモから)

- ・後ろ向きに歩く (という視点)

## 地域経済の動向

・公共の需要などは一旦中央で受注されて、一部地方に下りてくるものもある

(SDGs的には)

 安全な水とトイレを世界中に (水源は安全より商品化)

 働きがいも、経済成長も (ブラック企業)

 住み続けられるまちづくりを (シャッター街)

 海の豊かさを守ろう (環境より貴重と思ふもの)

 陸の豊かさを守ろう (環境より貴重と思ふもの)

(エンディングから)

- ・身近な人と会話したり、映画を見たり、花を贈るのも良い
- ・友達なんか要らないだろう。愛なんて必要ない

## 業界・同業他社の動向

・神の見えざる手に任せている

・競争に敗れることは経営努力が足りない、と判断される?

(SDGs的には)

 つくる責任、つかう責任 (4R率、コスト重視?)

 気候変動に具体的に対策を (コスト重視?)

## 顧客の動向

・何に価値や豊かさを感じるのが多様化

・豊かを感じる人の割合は?

・大切な人との時間と労働にかける時間のバランスは?

・「モモ」の発行数が増えている、ということは?

(SDGs的には)

 パートナーシップで目標を達成しよう (仲間作りできる環境、自分も含めた人の価値)

(エンディングから)

- ・モモもいる
- ・灰色の紳士たちもいる

## 経営の立場からではの理念1

産業と自然に対して、価値を再評価しているつもり。  
 本当は、**人についても再評価**できる表現も入れられたら良かったのに、  
 力不足。

### 経営理念

「**愛援のマーケット**」を創造します。  
 <人と自然が作り出す産物>が持つ価値を再認識し、  
 安心・安全な食べ物を消費者に提供することにより、  
 長期的な視点で自然を守り、生産者を応援する。



### 1. なんのために経営をしているのか

・一見、不便とか非効率と思われることに対しても、**隠れた価値を見つけ出す。**

(具体的に)  
 暮らしてゆくために**食は大切**です。その食材を提供してくれる**農家を元気**にすることは、私達の**生活を安定**させることにつながります。安い農産物を輸入したからといって、生活を安定させるとは限りません(コロナとか、なぜ安いかの理由とか)。ただし、現状は問題あり。

以下、[あぐりナビ](#)より

#### 進む農業の高齢化と後継者不足

・2009年の農家の**平均年齢は68.5歳**【2015年の**中小企業経営者のピーク年齢は66歳**】

(2009年の農業人口は289万人で当時世界5位)

(平成27年の日本の農業総産出額は8兆7979億円で当時世界10位以内)

・後継者不足(2009年の35歳未満の農業人口は5%)で、農作業中の事故も増加傾向【2015年の**60歳以上の中小企業経営者**において**48.7%**が後継者不在】

#### 後継者不足は農業を始める敷居の高さが原因

・米農家に従事して、初年度の**売上は平均で230万円**。**コストの平均が690万円程**

**田舎へ移る若者世代も**

「お金が儲かる農業」のノウハウを、農業以外から会得している。

- ・高等教育や会社勤めで情報処理やマーケティングを学んでいる。
- ・都会のスーパーマーケットで、高くても質のいい野菜が沢山売れるのを知っている。
- ・インターネットで広く世界に情報発信をすることの大切さを実感している。

★丁寧な農作業は、その過程を消費者に知ってもらってこそ生きる。ホームページを作り、話題を提供してマスコミに取り上げてもらったり、都会で試食会を開催したり、大手の外出チェーンやスーパーマーケットと取引している農家も増えてきています。

**現実問題**

- ・ずっと農業をしてきたわけではない若者は、壁にぶつかって、農業から手を引いてしまうケースも多く存在する。

**対策・希望**

- ・受け入れ側は、細やかな心配りをすること。都会で人間関係に心をすり減らし、食の安全や農業に目覚めた若者の心を確実につかむこと。
- ・農家の後継ぎ募集は行政がバックアップしています。

## 2. 創業時(継承時)の精神は何か、決意・思いは何か

- ・経済は愛でまわす。
- ・もう一度貨幣を**実際になされた仕事や物の実態に対応する価値**として位置づけるべき。by ミハエル・エンデ(1999年)

## 3. 自社の固有の役割は何か

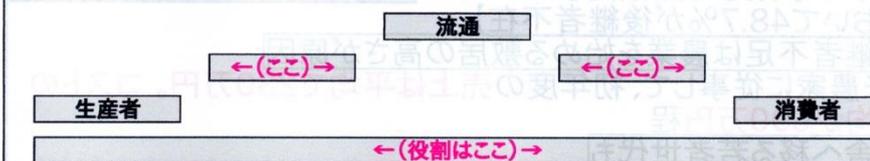
- ・見落とししている価値の発見
- ・人と人、人と自然をつなぐ。

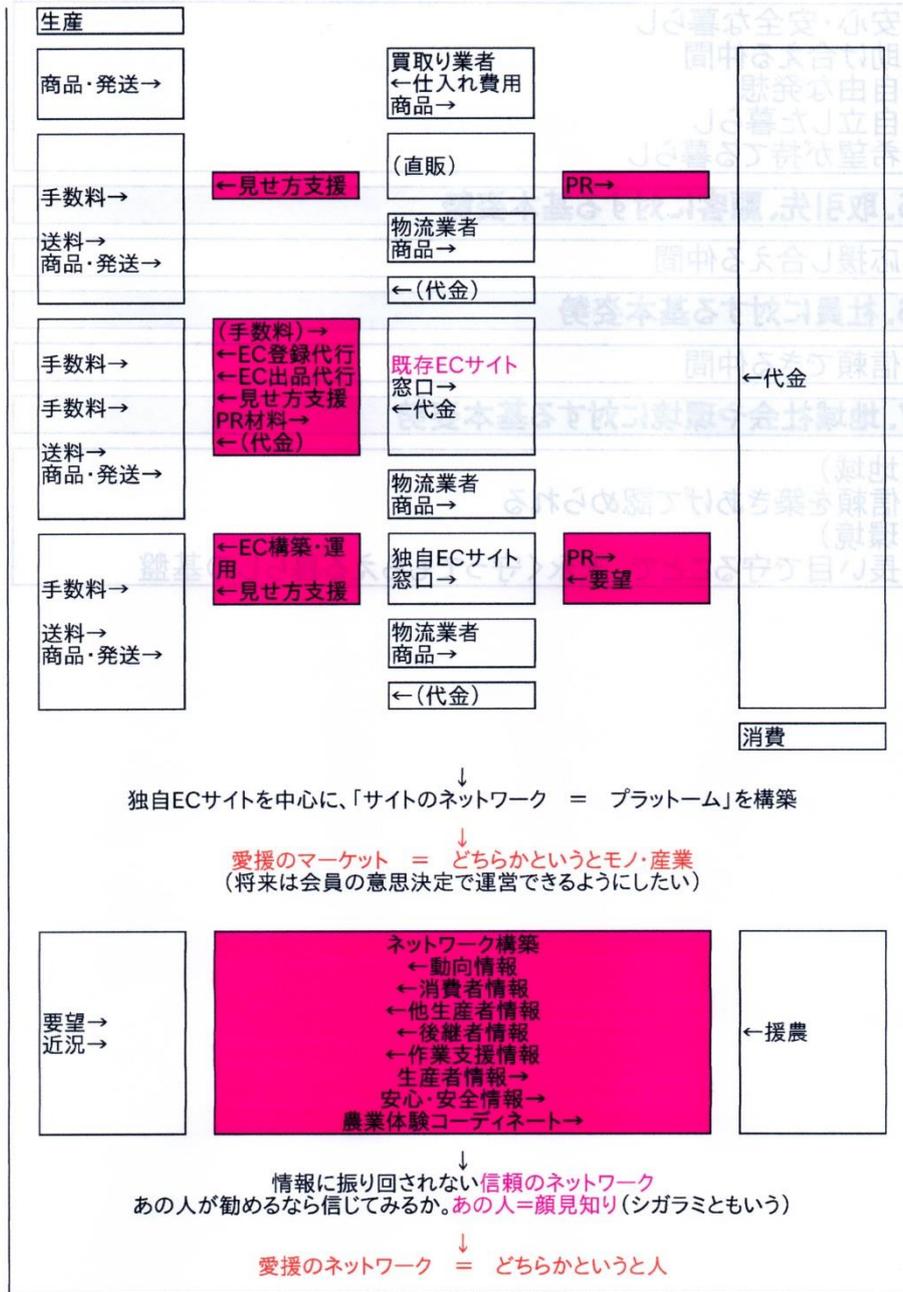
**農業×福祉『農福連携』**

(具体的に)

- ・生産者のネットワーク
- ・流通のネットワーク
- ・消費者のネットワーク

を安心できるネットワークに。





#### 4. 大切にしている価値観、人生観

- ・安心・安全な暮らし
- ・助け合える仲間
- ・自由な発想
- ・自立した暮らし
- ・希望が持てる暮らし

**5. 取引先、顧客に対する基本姿勢**

- ・応援し合える仲間

**6. 社員に対する基本姿勢**

- ・信頼できる仲間

**7. 地域社会や環境に対する基本姿勢**

- (地域)
- ・信頼を築きあげて認められる
- (環境)
- ・長い目で守ることで、末永く守ってもらえる暮らしの基盤